

平成 26 年度第 2 回佐倉市公民館運営審議会会議要録

日時：平成 26 年 10 月 30 日（木）午後 1 時 30 分～午後 3 時 45 分

会場：和田公民館

出席者：中村次克委員、大野尊史委員、酒井孝子委員、大野直道委員、高梨直子委員、
浅井俊彦委員、奥津友子委員、慶田康郎委員、坪井浩委員、松井強委員、
村上勲委員、日向和夫委員、松野勝委員（13 人）

事務局：中央公民館長・疋田健
和田公民館長・小暮達夫
弥富公民館長・井筒弘行
根郷公民館長・木村武雄
志津公民館長・檜垣幸夫
臼井公民館・柳田晴生
社会教育課長・江波戸寿人
中央公民館・石井肇主幹補、森田主査補
臼井公民館・宮野雅樹主査補

開会 13：30

1 開会

2 委員長あいさつ

3 議事

平成 26 年度公民館中間報告について

疋田館長：

それでは、平成 26 年第 2 回佐倉市公民館運営審議会を開催させていただきます。

最初に資料の確認をさせていただきます。まず、事前に皆様にお配りいたしました式次第と平成 26 年度佐倉市公民館中間報告ですが、お持ちでしょうか？それから本日お配りしました志津公民館等複合施設の資料と佐倉市公民館事業評価一覧、弥富公民館だより、根郷公民館だより、志津公民館だより、臼井公民館だより、ですがお手元にありますでしょうか？それから、本日会議終了後ですが、和田ふるさと館で特別展が行われておりますので時間のある方は寄っていただければと思います。それでは第 2 回審議会の議題に入らせていただきます。これより委員長宜しくお願い致します。

慶田委員長：

皆さんこんにちは。今年度第 2 回目の公民館運営審議会となります。お忙しい中お集ま

りいただきましてありがとうございます。今日は式次第にもありますように4月から9月までの6ヵ月間の各公民館の事業結果の報告を各館長から頂けることになっております。質問などにつきましては6館全部の報告が終わってからまとめて質問をしていただければと思っております。事務局からは来月芝山町で行われます第66回千葉県公民館研究大会についての説明と社会教育課より志津公民館複合施設の進捗状況についての説明がありますのでよろしくお願いたします。まず、中間報告ですが、中間報告表紙の中央公民館から順番に報告をしていただきたいと思います。

◆中央公民館

疋田館長：

それでは平成26年度中央公民館事業中間報告をさせていただきます。よろしくお願いたします。1ページをお願いします。最初は家庭教育です。

「3歳児親子でわらべうたあそび教室」は、3歳児と保護者15組を募集したところ、9組20人の申し込みがありました。この講座は、わらべうたあそびを通して幼児の心の成長と豊かな感受性を育むこと、親子の触れ合いと他の参加者親子との交流を図ることを目的としています。10/3に第1回目を開催したところです。

次の、家庭教育共通講座「親子で食育講座」ですが、8/30日に開催することとしてこうほう佐倉で募集しましたが、参加申し込みが少なかったため実施を見送り、2月に開催することとして現在調整中です。

続いて、青少年教育です。

「ジュニアカヌースクール」は、小学校3・4・5年生15人が参加し、6/7から9/13まで8回開催しました。指導を、佐倉市カヌー協会の方にお願し、印旛沼中央水路カヌー場で行いました。なお、希望者は8/24の千葉県のカヌー大会の新人戦に出場しました。

続いて、夏休み期間中に実施した「子どもの居場所作り」事業です。

このうち、上に記載してある7つの事業は、公民館を利用しているサークルの方々が指導者となって、小学生に様々な体験をしてもらう事業です。なお、この事業へ参加いただいたサークルは、4/24に開催した平成26年度利用団体・グループ懇談会で募集を行いました。

「花とあそぼう いけばな教室」は、佐倉市華道連盟、

「佐倉こどもかるた大会」は、佐倉こどもかるた子都手留会、

「こどもそば打ち体験教室」は、そば打ち愛好会、

「三角コプター」は、飛ばそう会、

「ペットボトルのロケットを作るとばそう」は、おーいあそぼう会、

「子どものための絵画教室」は、絵画サークルアムール、

「親子で学ぶ武家屋敷と侍の暮らし」は、NPO法人まちづくり支援ネットワーク佐倉、という団体の方々に指導者となっていただきました。

全部で7教室・11回開催し、127人が参加しました。

次に、7/26 から 8/31 まで、資料には、「学習室 2」とありますが、カレッジ棟の「学習室 1」を自主学習の場として提供しました。対象は小・中・高校生及び保護者とし、34 日間開設し延べ 77 人が利用しました。

次に、「通学合宿」です。11/16～19 日まで 3 泊 4 日で実施することとして、現在準備中です。今年は佐倉小の児童 4、5、6 年生を対象とし、佐倉高校のセミナーハウスで行います。9 月に参加者を募集したところ、36 名の応募があり、10/8 に抽選会を行い、各学年 7 名ずつ合計 21 名の参加者を決定したところです。今後は、11/5 に保護者説明会を行う予定です。

続いて「親子映画会」です。この事業は、視聴覚教材ライブラリーの事業として、夏休み、冬休み、春休みに市民音楽ホールで実施するものです。1 回目は 8/8 に、「プレーンズ」というアニメーションを行い、575 人の参加がありました。

2 回目は、12/26 日に開催する予定です。

2 ページをお願いします。「水辺観察会『夏休み子供水辺探検ツアー』」は、市の環境保全課、臼井公民館との共催事業として、7/28 に開催し、19 人の参加がありました。午前中は屋形船で印旛沼の観察を行い、午後は畔田谷津で魚取りをしました。

続く、「佐倉市・女子美術大学連携協働事業『JOSHIBI ワークショップ』」は、平成 24 年に締結された「佐倉市と学校法人女子美術大学との連携協働に関する協定書」に基づき実施する事業で、事業内容の企画及び指導を芸術学部の准教授と学生にお願いして、8/20 日に実施し 11 人が参加しました。今回は、「まち・まち大作戦」というテーマで、子どもたちの視点で街づくりを考え、紙粘土や絵の具などを使って建物などを作り、パネルに配置して、自分たちが住みたい町を作ってもらいました。

次は成人教育です。2 番目の「パソコン講座」については、11/8、9 に計 3 回実施いたします。1 回あたり定員は 10 名、約 2 時間で、「Word で年賀状を作ろう」という内容です。すでに参加者募集を行っております。指導は、市民カレッジ情報コース卒業生です。また、「地域づくり講座」については、準備を進めているところです。

次に、佐倉学講座のうち、下から 2 番目の「印旛沼公開講座『温故知新』」につきましては、印旛沼環境基金が主催し、環境保全課との共催事業です。6/28 と 7/26 は「いんば沼 - むかし、いま - 」という内容で実施し、後の 4 回はテーマ別に座談会を行っています。すでに 2 回終了しています。

その上の「佐倉の民話・伝説・小説・映画・写真から佐倉を詠む」については、「メディアに見る佐倉の現代史」というテーマで 11/8、22 の 2 回開催することとして、現在募集中です。

佐倉学のうち、一番上の「印旛沼」、2 番目の「佐倉・城下町 400 年」、一番下の「古今佐倉真佐子を歩く」については、現在、内容や講師、実施時期等について検討中です。

続きまして、「佐倉市民カレッジ」です。

7 月末から 8 月の夏休みを挟んで、9 月から各学年とも順調に授業が進んでおります。10/3

(金)には、市民体育館で、全学年合同で「スポーツフェスティバル」を行いました。また、通常の学習と合わせて、市民カレッジ文化祭の準備を進めています。文化祭は、11/12(水)～14(金)までは、研究発表・学習発表・作品展示を行い、15日(土)は、舞台発表を行います。

10/30日の時点では、1年生は20回、2年生は19回、3年生、4年生は、12～13回の学習を行っています。

次に、3ページをお願いします。コミュニティ事業です。この「佐倉学び塾」は、優れた技術・知識・能力を持った市民の中から公募で選ばれた方が講師となって、新たな地域での取り組みのきっかけづくりとなることを期待して開設する講座で、各公民館で違ったテーマの講座を実施するものです。中央公民館では、「さぁー『エコな生活』をしてみませんか～みんなで家庭や地球にやさしい工夫をしよう～」というテーマで、生活での省エネ・エコ化・CO2削減などの工夫について学ぶ講座を、10/19からスタートしています。

次に団体育成です。上から4番目の「佐倉民話を語るボランティア派遣事業」、「佐倉こどもかるた普及派遣事業」です。これは、佐倉学の関連事業の一つとして、市内小学校・教育センター・中央公民館が連携して、子どもたちに「佐倉学」を総合的に学べる場を提供し、人材の育成と、郷土愛を育むことを目的として実施するもので、市民カレッジ卒業生で結成された民話を語るボランティア団体「さくらっ古」と「佐倉こどもかるた子都手留会」を派遣するものです。

次の「視聴覚機器貸出」、「16ミリ映写機点検事業」、「16ミリ映写機操作講習会」は、視聴覚ライブラリーの事業です。

最後に広報活動です。

「中央公民館だより」は年1回発行しています。発行時期は年度末ころを予定しています。主な内容は、市民カレッジの受講生募集などです。

「なかま」は、一般市民から広く原稿を募集し、毎月1回発行しています。

以上、今年度の中央公民館事業について、中間報告をさせていただきました。

また、施設管理関係ですが、8月から9月にかけて、トイレの改修工事を行いました。1階については、男性用、女性用ともすべて和式便器を洋式便器に取り換えました。また、2階、3階につきましては、それぞれ1つを洋式便器に取り換えました。なお1階のトイレにつきましては、トイレの扉が円形の引き戸になっていますので、中央公民館に来られた時にはご覧になってください。以上です。

◆和田公民館

小暮館長：

それでは平成26年度和田公民館事業中間報告をさせていただきます。よろしく申し上げます。資料4ページをご覧ください。

まず、家庭教育事業でございます。子育て教室でございますが、親子遊び・親子で工作な

どを楽しみながら育児や子育て中の親子の交流を図るという事業でございます。対象は2・3歳児とその保護者でございます。開催は5/16から始まりまして現在まで6回実施しております。10/17実施人数は記載されておりましたが16人となっておりますのでお書き添えいただければと思います。続きまして、楽しく家庭教育講座でございますが、こちらは子どもの健全育成のために家庭でどういったことをしたらいいのかという学びと同じ世代・悩みを持つ保護者同士の交流の場となっております。9/24には救命救急ということで、消防本部の協力を得まして乳幼児を含めた救命救急の講座を心肺蘇生法やAEDを使った内容のものを行いました。次回は11/19を予定しております。

続きまして、青少年教育剣道教室でございますが、和田地区の小学生19名が参加しております。5/10から始まりまして毎週土曜日に和田小学校の体育館を借りまして実施しております。次に軽スポーツ大会です。こちらは、和田地区社会福祉協議会と住民会議と和田公民館が共催で行っており、異世代交流のための軽スポーツでございます。内容としてはグラウンドゴルフを10/19に開催いたしまして、小学生21名も参加いたしまして、全体としては大人を含めて81名の参加がありました。続きまして、夏休み面白体験教室でございますが、7/29に開催いたしまして、和田小学校の児童20名が参加しており、午前中は順天堂大学の大学院生をお呼びしまして、簡単な家庭でも楽しめる体操を実施し、お昼は地区住民の方をお願いをいたしまして皆で料理作りを致しました。午後は県の出前事業を行いまして縄文土器を学ぶ場を作り、その中で勾玉を作りました。この事業は大変人気があり、定員20名を上回る申込みがありました。材料の関係などから20名で実施を致しましたが来年度はその辺を再考し事業を進めたいと思っております。続きまして、さくらっ子塾料理教室ですが、こちらは地域の食材を利用した料理を子ども達と作り、ふるさとの愛着を感じ育み深める講座になります。6/7に13人、10/11に2回目を開催しており14名が参加しておりますのでお書き添えいただければと思います。続きまして、さくらっ子塾伝統文化体験教室でございますが、7/26につきましては、和田はたおり保存会をお願いをしまして、はたおりの体験を行っております。参加は22名でございます。8/4につきましては編み物体験として、手芸教室の方に講師をお願いしまして編み物を体験していただきました。15名の参加がありました。成人教育佐倉学佐倉400年事業ミニわらじ作りに関しては1月を予定しており講師の方と調整をしております準備を進めているところであります。続きまして佐倉学体験講座ふるさと味工房でございますが、こちらは地域の食材を使いながら伝統的な料理を学んでいくという内容です。8/18、9/17にそれぞれ実施しております。太巻き寿司と大和芋を使った料理で実施しました。次回は12/5を予定しております。続きまして、佐倉市市制施行60周年記念特別展「写真に残る和田地区の思い出」ですが、和田ふるさと館に分室がございまして、そこに歴史民俗資料室というものがあり特別展示しています。公民館だより等で地域の方に呼びかけ、ほぼ60年前和田地区で話題となった出来事を取り上げてその時の和田地区の様子を知ろうと。知る事によって地域に対する関心を深めていただく、或いは地区外の方が特別展を見て戴いて和田の魅力を知っていただくという

思いで特別展を実施しています。10/16 から開催をしていますが、16 日にはオープニングセレモニーを和田小学校と連携いたしまして、和田小学校の 5・6 年生にセレモニーに来ていただき行いました。市長・教育長も出席を致しました。セレモニーの後は学習の時間を設けまして特別展の案内を公民館職員が行いました。後程、詳しくは特別展をご覧になっていただきたいと考えております。続きまして、佐倉学入門講座 楽しく学べる和田地域塾ですが、和田地区の歴史・自然・民俗・生活等を学び実際に体験し豊かな自然を体感する講座ですが、講師につきましては和田地区の住民の方をお願いすることを主眼といたしまして進めております。現在までに 6 回実施しておりまして 10/20 につきましては 9 人の参加者がおりますのでお書き添えいただきたいと思っております。続きまして、コミュニティー事業の佐倉学び塾ですが、先程、中央公民館長より説明がございましたとおり、市民の方に講師になっていただきまして学びを行う事業です。和田地区につきましては、食の地域モデルで新たな価値を考えよう！というテーマで 11/29 から 5 回にわたって講座を行う予定であります。テーマだけでは分かりづらい所はありますが、和田地区はご存じのように少しずつ過疎が進んでいる地区であります。農業が盛んなところではあります。農業事情が厳しい中でどうやって町興しをしていくのかというのが大きな課題となっております。このテーマでこの地区の農産物等がどのような物があるのかを知っていただき、この地区でどのような食のモデルが必要となってくるのかを、全国様々な町興しの発表を交えながらこの地域と比べ考え、この地区でどのようなモデルが必要になっていくかというのが和田公民館で行う学び塾でございます。この結果については次回の会議で報告ができるものと考えております。現在は、地域住民と生産者と話し合いを行っており、地域住民と一緒に地域モデルを考えていこうと考えております。続きまして、和田地区防災訓練は地区の区長会にも協力を依頼しまして住民の方を交えまして、和田ふるさと館と合同で行うことを 1 月下旬に予定しております。続きまして長命大学手芸教室でございますが、昨年度までお願いしていた講師の方が退かれるという事で、後任の講師の選定に時間がかかった関係で 9/19 からの開始となっております。現在まで 2 回の開催となっておりますが 10/24 は 5 人の参加です。人数は少ないですが、講師の交代の為に時間がかかってしまったが、楽しみにしていた方もいるのでこのまま継続をしていきたいと考えています。続きまして地域大学交流会ですが、バスに乗っての見学会を実施する予定でこちらは 3 月に実施の予定となっております。続きまして団体育成事業ですが、当館の団体育成は和田小 PTA 民俗資料収集委員会、和田はたおり保存会、和田地区青少年育成会議ですが、和田はたおり保存会は後程現場を見ていただきますが毎週金曜日に活動を行っています。和田小 PTA 民俗資料収集委員会、和田地区青少年育成会議につきましては地域にかかわる様々な事業を行っています。近々には 11/16 に和田ふるさと祭りという地域の一大イベントが和田小を会場に行われます。公民館としても協力をしています。同時に 11/15、16 と和田公民館で文化展というものも行います。和田ふるさと館では、はたおり保存会がはたおり体験を行います。委員の皆様につきましてはお時間の都合がつけば是非お越ししていただければと思います。

続きまして、広報展示活動の公民館だより発行でございますが、こちらは6・9・10月号を発行しております。各号780部を発行しておりますのでお書き添えください。図書貸し出しですが公民館窓口にて行っております。以上で和田公民館の報告を終わりにさせていただきます。

◆弥富公民館

井筒館長：

平成26年度 弥富公民館事業の中間報告をさせていただきます。

初めに資料の訂正をお願いします。7ページをお願いします。上から2段目、3段目の期間・回数欄でございますが、こちらを削除していただき、2段目に「随時」、3段目に「通年」と訂正をお願いします。

それでは資料、6ページをお願いいたします。

最初に家庭教育事業の「親子遊びのつどい」でございます。色々な遊びやものづくりを通して、人と人とのふれあい、子育てにおける家庭の在り方、子供へのかかわり方について学んでいただくため、2歳児・3歳児とその保護者を対象に実施しております。今年度は5組11人の参加者で、手遊びやゲーム、新聞紙を使った遊び、工作、水遊び、タオルやボールを使った運動会など、計6回の親子遊びを実施いたしました。後半は、家族と一緒に野外体験やハイキング、クリスマス会や昔ながらの遊びを実施し、更なる学習、交流の場を提供してまいります。

参加者が少ないように思われがちですが、参考までに地域対象者等の詳細を申し上げますと、弥富地区全体の該当者が9組、内3組が参加、その他2組が根郷地区、1組が千葉市から参加をいただいております。弥富地区の残り6組については、共働きなどの関係から保育園に通われているようです。なお、募集については広報や公民館だより、ダイレクトメールなどで呼びかけを行っております。

次に、青少年教育事業の「弥富剣道教室」では、剣道の稽古を通し、心身の鍛錬、青少年の健全育成、異年齢の交流を図るとともに、千葉県指定無形文化財「立身流」を継承していくことを目的に、毎週土曜日の午前中、弥富小学校の体育館において実施しており、現在は9人の子供たちが稽古に励んでおります。

次の「星空観察会」は5月・8月・10月の3回の開催を予定しておりましたが、5月は悪天候の為中止、8月の観察会は雲が多く野外での観察はできませんでしたが、屋内でプロジェクターを使ってのプラネタリウムを実施、27人が参加しました。10月は皆既月食の観察会を行い、児童と保護者、先生や地域の方々、59人の参加し、天体望遠鏡や天体に対する興味を示されておりました。

次の佐倉っ子塾「なんでも体験弥富塾」は弥富小学校の全児童56人のうち33人が塾生として参加しており、郷土の生活習慣や自然体験を様々な方法により学習するとともに、地域住民とのコミュニケーションを深められる場として期待しております。プログラムも

地域の特色を生かした学習や地域の各種団体と共催での事業展開もしております。現在まで5回、輪ゴムを使って走る車や万華鏡などのおもちゃ作り。簡単おやつ作りでは冬瓜のコンポート、カボチャのソフトクッキーをつくり、おいしくいただきました。しかし、残念なことに6月に予定しておりましたザリガニ釣りは、天候や学校行事の関係から中止となってしまいました。それぞれの参加人数につきましては資料の通りでございます。なお、10月以降につきましては連凧作りや成木餅づくり、楽しいクッキングへの挑戦、バス見学などを予定しております。

続きまして成人教育事業の「グラウンドゴルフ」でございますが、弥富地区高齢者クラブとの共催により、小学生から高齢者まで47人の参加をいただき実施いたしました。当日は高齢者クラブの方々から子供たちにルールや競技方法を丁寧に教えていただくとともに一緒にプレーを楽しみ、異世代間の交流を図ることができました。なお、6月は雨の為9月28日に順延しての実施となりました。

次に、健康づくり講座では、日常生活に必要な基礎体力を維持するための運動方法を学ぶことを目的とした「楽しくゆったり太極拳」を全6回実施いたしました。この講座からは、普段やり慣れているヨガやストレッチとは違った体験ができ良かった。心地よい汗をかくことができたなどの感想をいただきました。

次の佐倉学体験講座「くらしの講座」でございますが、生活文化等を次世代に伝えるとともに、郷土愛を育むことを学んでいただくために実施しております。6月のバス研修では川越の蔵造りの街並みを散策し、自分たちの暮らす街との違いについて比較をしていただき、日常生活の中で感じていない点を再認識していただくことを目的として実施いたしました。また、伝統的な太巻き寿司より手軽に学べる講座として、デコ巻きずし作りを実施し、クマとアジサイのデコ巻き寿司を作りました。今後の実施内容につきましては、弥富地区伝統料理の太巻きずしの技法習得、そば打ち、昔から伝わる布草履づくりなどを予定しております。

次に「塩古ざるづくり」でございますが、これは24年度からの継続事業でございます。前期として9月に3回、後期として11月に4回の全7回で実施いたします。この事業は昔から伝わるざるづくりの技法を次世代に継承するため、材料作りから編上げまでを学ぶものでございます。材料については使用する部位によって異なることから、9月には新しい篠竹を加工しての材料づくりを行い、3日間、延べ49の方が参加されました。11月にはさらに固くなった篠竹を採取・加工し、最終的には一人一人が塩古ざるを編上げるものでございます。7ページをお願いいたします。広報活動の公民館だよりでございますが、5月には8地区の区長さんを通じて公民館だよりを全世帯に配布し、公民館事業の案内や募集、情報の提供を行いました。なお、本日お手元に配布いたしました「弥富公民館だより」の9月号と年明けに1月号の計3回、発行いたします。また、主催事業のお知らせにつきましては、公民館の主催事業や地域行事の案内も含め、随時、地域回覧によりお願いしております。次の団体育成については弥富民俗資料の展示室見学に対する説明・案内に関する

ることや、弥富地区青少年育成住民会議等の諸団体が開催する事業へ年間を通して活動の支援を行っております。なお、弥富公民館が担当するコミュニティ事業でございますが、資料に弥富公民館だけ中間報告に記載がございません。これは今年度公募で選ばれた講座が5講座でございますので、今年度は根郷公民館が実施いたします「青春を取り戻そう！ 大人のためのエレキギター講座」の運営等を共同で行う方向で調整させていただいております。弥富公民館の中間報告については以上でございます。

◆根郷公民館

木村館長：

平成26年度 根郷公民館事業の内、9月までに着手した事業を中心に中間報告をさせていただきます。8ページをお願いいたします。まず、家庭教育事業でございますが、ぽっぽちゃんくらぶでは、2歳児と保護者を対象として、絵本の読み聞かせや手遊び、マットやタオルを使った運動を通じ、幼児の創造力や豊かな心を育み、同年齢の友達と触れ合うことで、幼児期的人格形成を促すことを目的としています。前期・後期、それぞれ12回の講座を開催、前期は15組、後期は10/2に開講し、現在9組の親子が受講しております。保護者同士の交流をとおして、情報交換や子育ての不安解消、そして、親と子の係わりを学んでいただいております。次の、親子ふれあい教室は、幼児や小学生が親子と一緒に体操や料理を体験することで、心身の発達を促し、家族の係わり方を学び、また、親同志の交流や情報交換を図りました。こちらの講座はぽっぽちゃんくらぶとは異なり、体操と料理、どちらかひとつでも参加できるようになっております。体操では、ボールなどの道具を使った体操、料理では、子供向けの太巻き寿司や米粉を使ったお菓子作りなどを体験しました。次の、親子体験教室では、ザリガニ釣り、工作、料理などの体験を通じて、参加者相互の交流を図り、親子のコミュニケーションを深める機会とするとともに、知識や技能を身につけました。また、テーマについては、公民館で設定しますが、詳細は、参加者親子が自ら計画を立て、協力して準備することにより、創造力や自主性を育み、参加者同士や地域の方との繋がりを深め、仲間作りの場ともなりました。全部で5回の講座で、9組、24人が参加しました。怒鳴らない子育て練習講座は、3歳から小学校までの保護者を対象に、子どもへの伝わりやすい言い方・ほめ方・注意の仕方等、しつけの際の子どもとのコミュニケーションのとりかたを学ぶ講座で、9月に実施しております。

次に、青少年教育でございます。

まず、通学合宿ですが、親元を離れ、集団生活の中で日常生活の基本を自分自身で行いながら学校に通うことで、子どもたちの社会性、自主性、協調性を伸ばし、「生きる力」を育む事業でございます。今年は、根郷小、寺崎小の児童21人を対象に、学生ボランティアや地域のボランティアの協力をいただきながら、6/22から3泊4日で実施しております。次の、体験ものづくり講座では、小学生を対象として、3つの講座を開講しました。まず、「おもしろ科学実験隊」では、子どもたちの五感を刺激する実験をとおして、遊びながら

新しい発見をし、科学の不思議さ・楽しさに触れてもらうことを目的として、7回にわたり開講しており、16人が参加しております。「夏休み子ども水彩画教室」では、公民館利用グループの協力により、色彩の効果を学び、表現力を豊かにすることを目的として、7月に2回開催し、子どものやる気や創造力・自主性を養いました。

また、「勾玉作りに挑戦」では、千葉県教育振興財団の協力により、本物の土器や石器に触れ、また、勾玉作り等を通じて縄文時代の生活に触れる機会となりました。次の、佐倉学では、まず、水辺観察会ですが、印旛沼の水辺環境について、講義や野外観察を行い、子ども達が自然に親しみ、自然を大切にすることを養うとともに、環境の重要性を認識することを目的として、水辺探検ツアーを環境政策課と共同で実施し、19人が参加しました。次の、工場見学に行こうでは、工場見学をとおして、子どもの創造力や探求心などを育む事業ですが、今年度は、羽田空港内にあります、JAL整備工場を見学しており、12組、31人が参加しております。次に、9ページをお願いいたします。成人教育でございます。

まず、根郷寿大学では、60歳以上の方を対象に、生きがいを持って健康で充実した生活を送れるよう、佐倉の歴史や社会問題、音楽及び健康づくり、社会見学など、様々な講座を通じて交流を図っており、10月現在、153人が受講しております。また、6月の講座では、生活習慣病予防講座を市民公開講座と位置づけ、受講生以外の市民のかたも受講しております。9ページ中段のはじめてのハンギングバスケット講座は、今年度からの新規事業でございます。ハンギングバスケットとは、吊り籠を用いて花を植え込んだものですが、花と緑があふれるまちづくりを目指すためのガーデニング講座となっており、春・秋・冬に各2回づつ実施しております。次の、佐倉学の近代の佐倉講座では、佐倉の先駆者など、郷土の歴史について学ぶため、3つの講座を行っております。1つめは、「佐倉の史跡を訪ねて」をテーマに、直弥にある宝金剛寺を会場として、18人が参加し、お寺の歴史や基礎知識などを学びました。2つめは、佐倉の先駆者「自由様式の建築家 安井武雄の仕事」を開催し、日本の近代建築を代表する一人 安井武雄の仕事を振り返りました。16人が参加しております。3つめは、市川ー佐倉間に総武鉄道が開通して120周年を迎えたということで、地域にお住いの 佐倉市市史編さん委員であり、鉄道友の会参与を講師に迎え、総武鉄道開通を記念した講演会及び資料展示を11月に、さらに、JR東日本千葉支社にある運転シミュレーター施設の見学などを12月に企画しております。

次の、根郷ふるさと探訪では、根郷の自然を散策しながら、野草を観察し、自然に親しむことにより、郷土の自然について関心を促すことを目的として、春は六崎・石川方面、秋は太田方面の2回、野草観察会を実施しました。春は17人、秋は20人参加しております。また、来月には寺崎を散策し、密蔵院薬師堂の祭りを見学する予定となっております。

10ページの、団体育成、広報事業、図書事業、その他の開放事業につきましても、それぞれの活動が停滞することのないように、公民館活動、また地域活動の充実に向けて取り組んでおります。根郷公民館事業の中間報告については以上でございます。

◆志津公民館

檜垣館長：

平成 26 年度の志津公民館事業の中間報告、9 月末現在について説明いたします。

資料 11 ページをお願いします。他の公民館と同様に、家庭教育、青少年教育、成人教育、団体育成、広報活動で区分いたしております。

なお、今年度の事業については、概ね計画どおり実施をいたしております。

家庭教育といたしましては、2 歳児と母親を対象といたしまして、「おかあさんと遊ぼう」を年 18 回計画し、9 回実施しております。参加者は 34 組となっております。親子遊びを通じて、子どもの成長を見守り、子と親がともに成長する「育自」を体験する講座として、開講式・虫歯予防、さつまいもの植え付け、電車ごっこ、グループ遊び、七夕飾り、手形粘土、絵本の読み聞かせ、リズム遊び、お父さんと一緒にヨガ等を行っております。また、子どもと保護者を対象とした、「笑顔で子育て応援講座」は 2 月から 3 月で 2 回実施する予定でございます。

青少年教育といたしましては、「佐倉っ子塾 志津子ども教室」として小学生を対象に、佐倉の地域素材をおりませた体験学習講座を前期・後期にわけ実施いたしております。

地域の人から学ぶことにより、「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育むことを目指しまして、「子どもクッキング教室」「子ども手作り工房」「子ども自然教室」「子ども理科実験教室」の 4 つの事業を各 2 回実施いたしました。講座内容は表の右の内容欄に記載をしておりますが、子ども自然教室の 6/8 里山の生き物を探そうは雨天の関係より中止をしております。4 講座の前期の参加合計数は 133 名となっております。次の中学生と高校生を対象として、「ちょこボラ（公民館でちょこっとボランティア）」では、主に夏休み期間中に中学生 5 名が 3 日間ではありますが、公民館の体験を行っております。

成人教育といたしましては、「しづ市民大学」「佐倉学」「コミュニティ事業」となります。

しづ市民大学は 4 つの専科コース、「しづ学入門」、「地域健康学」、「くらしの情報学」、「おやじの食事学」で実施し、9 月末までに各コース 9 回が終了しております。全体での参加率は 91% の状況でありました。今後は各コースでの学習や、閉講式での発表に向けての準備が行われてまいります。また、公開講演会として、8/23 に佐倉・城下町 400 年記念事業リレー講座「佐倉惣五郎と宗吾信仰」、を実施しております。今後、しづ市民大学の学習からも 6 講座の公開講座を行ってまいります。次に 12 ページをお願いします。

佐倉学では、佐倉学入門講座といたしまして、「井野長割遺跡を学ぶ」佐倉・城下町 400 年記念事業では、「佐倉道を歩く」、地産地消「佐倉コミュニティカフェを学ぼう」を行ってまいります。また、コミュニティ事業として、地域人材育成、地域活動の担い手づくりのさくら学び塾を公募市民講師により実施してまいります。

次は団体育成についてでございます。

志津公民館祭につきまして 10 月の開催ですが説明をさせていただきます。本年度で第 41 回を迎え、10/17(金)~19(日)の 3 日間実施をいたしました。志津公民館で活動をしているサ

ークルが運営する実行委員会を組織し、有意義な学習成果の発表の場となり、さらに地域との交流の場となるため多くのサークルに参加を頂いております。今年度は 118 団体が参加し、3,184 人の来場となりました。

定期利用グループ運営研修会では、サークルに対して、活動の意義、運営のあり方などの確認や意見交換、避難訓練を実施しております。

また、調理室利用者懇談会では、調理室を利用するサークルにつきましても、調理室の効果的な利用方法の再確認、意見交換、清掃作業を実施しております。その他の団体に対しましては、「市子連(佐倉市子ども会育成連盟)の事務」や「志津ジュニア・リーダース・クラブの支援」「志津地区社会教育団体への援助」「相談・カウンセリング等の支援」「公民館園芸ボランティア団体への支援」を行っております。

最後に、広報活動でございますが、公民館だより「しづ」を年間 3 回、志津地区各世帯に各 25,000 部の発行、また、公民館ホームページに掲載をしております。志津公民館事業の案内・情報などを提供することで、公民館への理解と認識を深めていただいております。また、各事業の参加募集も公民館だよりでおこなっているところでございます。

◆白井公民館

柳田館長：

平成 26 年度公民館事業中間報告をさせていただきます。まず、家庭教育ですが、おはなし会です。毎月第 2 土曜日に開催しており、4 月から 9 月までの 6 回で延べ 153 人の参加がありました。内容は、すばなしと絵本のおはなし会です。本の世界に親しむとともに、パネルシアター、テーブル人形劇を組み合わせて実施しています。また、リピーターも多く、特に夏の「こわいおはなし会」は人気があります。次に 2・3 歳児親子遊びです。4 月と 5 月で全 4 回実施し、延べ 56 人の参加がありました。絵本の読み聞かせや手遊びを通じて親子の絆を育む事業です。11 月にも実施予定です。続きまして、青少年教育の佐倉っ子塾共通講座「土器づくり」です。小学 4 年生から 6 年生を対象に 8 月に実施しました。白井公民館の「白井まちづくり資料室」に展示している土器を実際に見せて、当時の人々のくらしぶりを紹介しつつ、粘土で土器を作っていました。次に、佐倉っ子塾共通講座「自然講座」水辺の自然観察をテーマとし、7 月に実施しました。水の透明度を測る透視度計を自分で作って、印旛沼や手繰川の透視度を測りました。また、小川に入りドジョウやフナやヤゴなどの水生動物を捕まえました。次に、バック・ステージ・ツアーです。これは、市民音楽ホールとの共催事業となります。小学 4 年生以上を対象として 8 月に実施しました。普段は見ることのできない舞台の裏側を紹介し、舞台、音響、照明の担当にわかれて実際に行われている仕事の体験をしてもらいました。応募人数が予定数より多くなったことで、午前中だけの事業予定でしたが、午後枠も設けて 2 回実施を致しました。将来は市民音楽ホールで働きたい、とお話ししてくれた参加者もいました。続きまして広報・展示

活動です。公民館 2 階の臼井まちづくり資料展示室において、新たに「臼井に伝わる話」として、「たんたん山」、「臼井宿回顧」、「臼井千代田百科事典」の中から抜粋して展示しました。臼井・千代田地区に伝わる昔話や伝説を紹介し地域に関心を寄せてもらうきっかけづくりになることを期待しております。以上でございます。

慶田委員長：

それでは 6 館全部の報告が終わったのでここで 10 分の休憩とします。

休憩（10 分程度）

質疑

委員：中間報告を聞いての事ではないが、一読させていただくと、2・3 歳児の教育、小学生向けの教育・成人向けの教育、佐倉学を学ぶ講座等公民館では様々な事業が行われているが、それはそれで良いとは思いますが、公民館に来たくても来れないお年寄り方もいますよね？サークル活動という定義がないのかもしれないが、2・3 歳の教育はしなければいけないのは分かるが、市役所の方で以前に市民意識というアンケートをしたと思うが、佐倉市にずっと住みたいと思うか？の内容の質問があった。住んでいる立地条件が違えば意味が違ってくると思う。今住んでいるところも段々高齢化が進んできている。10 年も 15 年も前に移り住んだ方が多い場所である。新しい方もなかなか入ってこない現状では高齢化は進む一方である。そういう中で高齢まで働いた方が地域に入ったと時にどうするの？というところがある。そういうところで中間報告も大事だとは思いますが、どういうサークルが活動をしているか聞いてみたい。

委員：志津に住んでいるが、普段は志津公民館に世話になっているが、志津公民館にもいろいろなサークルがある。そういったサークルに積極的に参加するのかしないかで大きく変わってくるような気がしている。

委員：少し荒っぽい言い方をさせていただくと、スペースや部屋を解放して、ただボケっとしていても良い。麻雀をしたい方はしてもいい、極端に言えば。そういう空間の中で地域の人たちやお年寄りが遠くまでいけない。活動の範囲も狭まっていく。会社人間をやってきた方には隣近所すらよくわかっていない。女性ほど声をかけることも不得手である。地域の中での男女の差がある。困った時の公民館であってほしい。

正田館長：それぞれの館でいろいろあるとは思いますが、中央公民館ではロビーがあり談話コーナーもあるのでフリーで来られる方はそちらを使っている。フリーで来られ

た方がお話をしているような場面はあまり目にしたことがない。働きかけもできたらいいが、公民館自体に目的があって来られる方が多いので、窓口などにサークル等の問い合わせをいただければご紹介することは可能である。

委員：各公民館では活動しているサークルを把握しているので問い合わせや活用をしてほしい。また志津地区での話をさせていただくと、中志津の自治会が自治会館で活動しているサークルの紹介をしている。地域にある自治会館なので歩いてでも行ける場所なこと、地域の方が主になっているのでつながりにもなっている。中志津もシルバータウン化しているほど高齢者が多くなっている。まずは、自分が積極的に行動することが大事ではないかと思う。

委員：自分は退職してから広報を読むようになった。在職中は広報を読んでいなかった。委員の募集なども広報紙で知り広報紙をよく読むようになった。広報紙の活用もした方が良いと思う。話は変わるが、公民館と学校の関わりを聞きたい。

疋田館長：中央公民館では通学合宿という事業で学校と連携をしている。対象校は佐倉小学校と佐倉東小学校を交互に実施している。昨年度は佐倉東、今年度は佐倉小が実施予定である。事業についても佐倉地区であればチラシの配布などしている。夏休みなどは子どもの居場所やジュニアカヌースクールなどの事業を行っている。11月に入れば職場体験なども児童生徒が来るので受け入れなどの連携もしている。

小暮館長：和田公民館での連携は、学校に協力をしていただかないと成り立たない状況もある。和田小学校は全校で児童数が90である。子どもに関する事業をする際には学校に協力を依頼してチラシ等の協力がないとやっていけない状況にある。学校の先生の手を煩わせて全校配布し参加を呼び掛けている。そのおかげもあって夏休み面白体験教室も20名の定員が定員を超える応募があった。機材・材料の関係で20名での実施をしたが、90名の児童数の中で20名を超える申し込みは学校の協力があったからだと考えている。また、社会科での見学には良い施設もある。説明も職員であったり地域の方が行ったりと地域全体でつながっている。学校の運営関しても学校側から委員に指名されているので、密につながっていると考えている。これからの予定としても、和田ふるさと祭りも和田小学校内、公民館の剣道教室も小学校の施設を使っている、小学校なくして公民館事業は成り立たないと考えている。

委員：今日中間報告をしていただいた中でコミュニティー事業の件だが、前回の運営計画

と事業計画をいただいたがこの時には、コミュニティー事業が入っていたのは和田公民館だけだったが、中央公民館では領域にコミュニティー事業で事業名がさくら学び塾、根郷公民館でもそうだが、和田公民館では成人教育の中にコミュニティー事業が入っているので統一した方が良いと思う。

委員：コミュニティー事業について伺いたいが、どんなふうに行われているのか？本当に市民中心で行われているのか？

疋田館長：中央公民館では、あとからお配りした佐倉学び塾では10/19に第1回が行われ、テーマ的に少し難しく参加者は多くないが、実際にやってみると楽しいとは思いますがまだ1回しか実施していないので何とも言えない状況である。ただ、事業の目的としては、それぞれ講師の方が家庭で実施していることをどのくらい効果があったかという事を講義してもらっている。実際来年から参加者に環境家計簿というものを付けてもらうことを目的としている。教えられる側がテーマの固さに二の足を踏んでいるのではないかと感じている。

小暮館長：和田公民館の食の地域モデルに関する講座は、まだ実施はされていないが、今募集をかけても中央公民館の発表があったとおり、応募状況は少ない状況である。先程の中間報告でも申し上げたとおり、この事業講座というのは、まさにこの地区が取り組むべき内容になっているので、講師の方とどういう形で進めていくのかという打ち合わせ等をしており、当然、地域の実情や生産者の意見なども必要になってくるので、地域の方に呼びかけを行っている状況である。

4 その他

- ・第66回千葉県公民館研究大会の説明 11/28
- ・平成26年度佐倉市公民館事業評価についての説明
- ・志津公民館進捗状況の説明（社会教育課）
 - 質問：駐車場の台数
 - 現志津公民館の跡地について
- ・佐倉市公民館休館日統一についての進捗状況（社会教育課）

5 閉会（15：45）